

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成20年8月14日(2008.8.14)

【公開番号】特開2006-15140(P2006-15140A)

【公開日】平成18年1月19日(2006.1.19)

【年通号数】公開・登録公報2006-003

【出願番号】特願2005-188034(P2005-188034)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/055 (2006.01)

H 0 1 F 13/00 (2006.01)

G 0 1 R 33/383 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/05 3 3 1

H 0 1 F 13/00 A

G 0 1 N 24/06 5 1 0 P

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月20日(2008.6.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

MR I 装置で使用する磁石組立体 (1 2) のプレート (3 2) 上に配置された複数の実質的に磁化していないブロックの 1 つを磁化させるためのシステムであって、互いに作動可能に結合された第 1 及び第 2 のアーム部分 (6 2、1 6 2) と、前記第 1 のアーム部分 (6 2) の第 1 の端部上に配置された第 1 の電磁コイル (7 0) と、
前記第 1 及び第 2 のアーム部分 (6 2、1 6 2) 間に結合されたブラケット (6 6) と、前記ブラケット (6 6) に作動可能に結合された可動部分 (6 8) と、を含み、
 前記第 1 の電磁コイル (7 0) が、該第 1 の電磁コイル (7 0) から少なくとも 1 つの磁化していないブロック (3 8) 及び前記プレート (3 2) を貫通し、さらに前記第 1 及び第 2 のアーム部分 (6 2、1 6 2) を貫通して伝播する磁場を生成して、前記ブロック (3 8) を磁化させるように構成されており、
エアギャップ (1 0 5) が、前記第 1 及び第 2 のアーム部分 (6 2、1 6 2) 間に形成され、
前記可動部分 (6 8) が、前記エアギャップ (1 0 5) 内部に位置決めされて前記第 1 及び第 2 のアーム部分 (6 2、1 6 2) 間に磁場経路を形成するように構成されている、
 システム。

【請求項 2】

前記ブラケット (6 6) が非磁性材料で構成されている、請求項 1 記載のシステム。

【請求項 3】

前記可動部分 (6 8) が鉄又は鉄を含む合金で構成されている、請求項 1 記載のシステム。

【請求項 4】

前記第 1 の電磁コイル (7 0) が、3～4 テスラの大きさを有する磁場を生成する、請求項 1 記載のシステム。

【請求項 5】

前記第 1 及び第 2 のアーム部分（62、162）が鉄又は鉄を含む合金で構成されている、請求項 1 記載のシステム。

【請求項 6】

前記第 1 の電磁コイル（70）が、前記ブロック（38）の接触表面積よりも大きい又は等しい接触表面積を有し、

前記第 1 の電磁コイル（70）の接触面が、前記ブロック（38）の磁化の間に、該ブロックの接触面に隣接して配置される、

請求項 1 記載のシステム。

【請求項 7】

MRI 装置（10）で使用する磁石組立体（12）のプレート（32）上に配置された複数の実質的に磁化していないブロック（38）の少なくとも 1 つを磁化させる方法であって、

第 1 及び第 2 のアーム部分（62、162）を、該第 1 のアーム部分（62）に第 1 の電磁コイル（70）を結合した状態で、それぞれ第 1 の磁化していないブロック及び前記プレート（32）に近接させて配置する段階と、

前記第 1 の電磁コイル（70）を励磁して、該第 1 の電磁コイル（70）から前記第 1 の磁化していないブロック及びプレート（32）を貫通し、さらに前記第 1 及び第 2 のアーム部分（62、162）を貫通して伝播する第 1 の磁場を生成して前記第 1 のブロックを磁化させる段階と、

を含む方法。

【請求項 8】

前記第 1 及び第 2 のアーム部分（62、162）を、該第 1 のアーム（62）に第 1 の電磁コイル（70）を結合した状態でかつ該第 1 の電磁コイル（70）が第 2 の磁化していないブロックに隣接して配置されるように、それぞれ該第 2 の磁化していないブロック及びプレートに近接させて配置する段階と、

前記第 1 の電磁コイル（70）を励磁して、該第 1 の電磁コイル（70）から前記第 2 の磁化していないブロック及びプレートを貫通し、さらに前記第 1 及び第 2 のアーム部分（62、162）を貫通して伝播する第 2 の磁場を生成して前記第 2 のブロックを磁化させる段階と、

をさらに含む、請求項 7 記載の方法。

【請求項 9】

前記第 1 の電磁コイル（70）が、3～4 テスラの大きさを有する前記第 1 の磁場を生成する、請求項 7 記載の方法。